

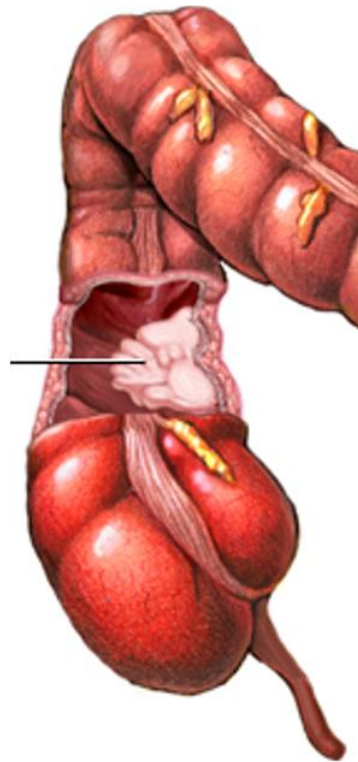
便潜血検査の見逃し率について

— 大腸内視鏡検査が必要なわけ —

便潜血検査の偽陰性率は、15.6%です。しかも、見逃された大腸がんのほとんどは、症状がないため、そのまま経過してしまいます。



偽陰性と判定された患者さんの94.0%は便ヘモグロビンが4 $\mu\text{gHb/g}$ 未満であり、見逃された大腸がんの60%は近位大腸、すなわち大腸の奥のほうにありました。



大腸内視鏡検査を受けることにより、はじめて安心
できる状態となります。

